

# 平成28年度 第1回 江別市自治基本条例検討委員会

## 会議録（要点筆記）

日 時：平成28年7月25日(月) 17時55分～19時40分

場 所：市民会館 23号室

出席者：石黒匡人委員、深瀬禎一委員、伊藤雅康委員、田口智子委員、山元規子委員  
工藤多希子委員、後藤一樹委員、小山千賀子委員（計8名）

事務局：高橋生活環境部長、湯藤生活環境部次長、堂前市民生活課参事、橋本主査  
高橋主事

傍聴者数：1名

### 資料

- ・資料1：江別市自治基本条例条文と解説
- ・資料2：江別市自治基本条例検討委員会設置要綱
- ・資料3：江別市自治基本条例検討委員会について
- ・資料4：自治基本条例検討委員会開催スケジュール（案）
- ・資料5：自治基本条例主な取り組み状況一覧
- ・資料6：平成28年度 自治基本条例アンケート（案）

### 会議概要

#### 1 委嘱状交付

#### 2 開会

#### 3 挨拶

#### 4 委員の紹介

#### 5 委員長、副委員長 互選

委員の互選により、石黒匡人委員長、深瀬禎一副委員長を選出。

#### 6 議事

##### (1) 委員会設置の趣旨と今後の進め方について

###### ○事務局

条例の概要について資料1に沿って説明。

###### ○石黒委員長

今後の審議の進め方については、前回の検討の時と同様すべての条項について議論する

ことでよいか。

○各委員  
了。

○事務局

委員会設置の趣旨について資料3、今後の進め方について資料4に沿って説明。

○石黒委員長

すべての条項について検討するが、順番に行うのではない。その大きな理由は、例えばアンケートで答えてもらう内容についてはアンケートを受けてから内容を検討する。来年の2月頃には提言書を提出する予定であるが、後になって前に検討した内容を再度検討することもあり得る。

○伊藤委員

「条例と解説」の1頁目にある全体の構成をみると、例えば第4章と第5章、第6章と第7章と第8章は関係性があると思われるが、前回の検討委員会において不都合はなかったか。

○石黒委員長

分量上切り離している条項もあるが、前回の検討において、特にこの順番で議論しにくいということはなかった。内容によっては、合わせて検討を行ったほうがいいこともある。後になって前に検討した内容を再度検討することもあり得る。ほかに質問等はないか。

○山元委員

資料3は外部に公表するのか。

○事務局

資料はホームページ等で公表する予定である。

○山元委員

資料3の構成の中で、委員6名のみに学識経験者・地域市民団体・市民公募で構成という説明が記載されているが、委員長も副委員長も同様なので委員6名にのみ説明されているような記載は誤解を招くのではないか。

○事務局

修正し、誤解を招かないようにしたい。

○石黒委員長

資料は外部に公表されるということでいいか。

○事務局

この検討委員会の中だけではなく、市民と情報共有するため、公表したい。

○石黒委員長

議事録については後程検討するが、資料については、公表するということである。ほかに何か質問等はないか。

○田口委員

アンケートに関係する条項をアンケート発送前に検討するスケジュールなのか。

○事務局

アンケートで中心的に聞くものは、その結果を踏まえたうえで審議したほうが、より充実した議論をしていただけたらと考え、アンケート結果集計後に検討をお願いしたい。アン

ケートで直接触れる予定のないものをアンケート集計前に検討願いたい。

○後藤委員

アンケート調査の方法はどのように考えているのか。

○事務局

市民5,000人を対象に無作為抽出で行う予定である。

○後藤委員

前回の回収はどれくらいだったのか。

○事務局

多くの方に回答いただきたいが、これまでは回答者数が1,500～1,600人程度に留まっている。

○石黒委員長

アンケート内容については後程議論するが、今時点でほかに質問等はないか。

○工藤委員

前回のアンケート結果を見ると、自治基本条例自体が多くの人に「知られていない」ので、自治会等を通じてアンケートを行ってはどうか。

○石黒委員長

アンケートについては、後程検討する。

## (2) 江別市自治基本条例に基づく取り組み状況について

○事務局

江別市自治基本条例に基づく取り組み状況について、資料5に沿って説明。

○伊藤委員

第2章第6条はなぜ「省略」なのか。市民の権利に関する条文であるため、市が何に取り組んでいるかについての情報が必要であると思う。「省略」とした理由について聞きたい。

○事務局

市民の権利として市民が主体となる条項であるため、「省略」とした。「省略」という表現は適切ではなかったかもしれないので、表現方法について検討したい。

○伊藤委員

第6章第21条第1項ならびに第5章第17条第1項にある制度や体制の整備については具体的な資料があったほうがいい。

○石黒委員長

取り組みの中でも、体制・制度を作ったのと具体的に実施してきたという意味は違う。体制の整備として行ったのは何かというような整理があったらいい。

○事務局

どのような内容で提供できるか検討させていただきたい。具体的に実施したことと体制の整備が混在しているので、整理し、それぞれの部分についてより詳しい資料を提供できるように検討したい。

○伊藤委員

第5章第20条、第6章第24条第3項、第25条第3項の不利益を受けない措置として何か条例ないし規則を作ったのか。また、実際の不利益の有無と内容等について具体的

に表されたほうがよかった。

○石黒委員長

資料を作ることによって、市民が不当に不利益を受けないようどう配慮していたかを見直すことにつながる。

○後藤委員

取り組みを実施したあとどのような形になったのか、毎回同じことを実施した中でもどのような変化あったのかが分かる資料があるといい。今後続けていくべきなのか、今後力を入れなくていいものかというのが分かると思う。

○事務局

すべてという部分では難しかったが、例えば第24条の中で附属機関等の設置として市民公募委員が31名だったとか、パブリックコメントの実施については平成27年度26人106件からご意見をいただいたというように、できる限り数字で表している。しかし、足りなかった部分があると思うので、今後の資料において検討したい。

○後藤委員

何人から意見をもらったのかも大事だが、取り組んだことがどのような結果になったのかある程度明文化されるほうが分かりやすい。実施したことが実際に結果に結びついたのか、実際には数字に表せられない部分もあるかと思うが、様子が分かるものがあるといい。例えば、職員研修を行ってその職員がどのように成長したのかなどの変化などもできれば知りたい。協働のまちづくりを議論するというのであれば、市民が各施策にどう関わることができるのかも重要になる。

○田口委員

後藤委員が言うような内容を資料に反映してほしい。

○石黒委員長

具体的に表すのが難しいものも多いとは思いますが、例えば職員研修やワークショップではアンケート調査を行っていると思う。そのアンケート結果がどうだったのか等の資料があれば、可能な限り構わないので明らかにしてもらえるといい。

○事務局

可能な限り用意したい。

○小山委員

資料5の特に●の新しい取り組みがどうなのか、結果がどうなのか、アンケートを出したら結果はどうなのか、その中で何を取り入れたのか、取り入れた結果どうなのか、各章を検討するときに資料を出していただけるといい。●以外についても平成24年度に既に話し合った内容であるので、特段のことがある場合は資料を出していただきたい。また、アンケートを出して市民がどういう風に考えているのかわかり、それを踏まえて検討できるのではないかと思う。

### (3) 自治基本条例アンケート(案)について

○事務局

自治基本条例アンケート(案)について、資料6に沿って説明。

○深瀬副委員長

前回の検討委員会の時にもアンケートを行っているのか。

○事務局

行っている。アンケート自体は5,000人を対象としたが、質問項目は今回のアンケート（案）の間1～4くらいの分量の基本的な内容に留まっている。5,000人アンケートでモニター登録者を募集し、引き続き調査にご協力いただける方220人を対象にさらに細かい質問を行った。今回は時間的な部分もあるが、前回と異なる手法で、1回の調査で前回4回かけて聞いた設問を網羅的に行いたいと考えている。

○深瀬副委員長

比較ができるようになっていないのか。前回行ったものと今回行うもので、どう推移したかはわからないのか。

○事務局

今回のアンケート回答者は何人になるかわからないが、対象人数に大きな差があるため、単純な比較は難しいかもしれない。

○石黒委員長

資料4のスケジュール（案）をみると、右側は前回のスケジュールとなっている。9月に行っている委員会のモニターへのアンケート（案）についてが、先ほど話していたモニター制度のアンケートである。前回行った間1～4のような1頁くらいのアンケートはいつごろ行ったのか。

○事務局

5月のまちづくり市民アンケートと一緒に送っている。

○石黒委員長

そのアンケートは自治基本条例アンケートだけではないのか。

○事務局

総合計画に関わるアンケートと一緒に同封して送っている。

○石黒委員長

大体1頁目が前回と同じということである。そのあとは、関心を持っている人が回答対象となった前回のアンケートと比較ということになる。

○田口委員

比較の話があったので関連して、次回委員会で前回の状況（分析結果）を見せてほしい。できれば次回の委員会前までに委員に送っていただけると、それぞれの条項に基づいて新たなアンケートを作るときに参考になると思う。

○石黒委員長

前回のアンケート結果はまとまっているのか。

○事務局

まとまったものがあるので早急に確認し、次回委員会前までに用意し、送付したい。

○伊藤委員

アンケート方法についてだが、市民5,000人の市民とはどの範囲なのか。第2条第1号で定義している市民とは、市内に住所を有する者、市内で働き若しくは学ぶ者、市内で事業活動その他の活動を行う者若しくは団体と3類型ある。さらに解説を見ると、「市民」

のところで江別市に住所がある人の中に、外国人登録している人も範囲として入ると思うが、5,000人はどの範囲と考えているのか。

○事務局

伊藤委員のご指摘のとおり、条例上はかなり広く市民をとらえている。市民の定義は広いが、抽出するには住民票から抽出するしか方法がない。そうすると、江別市に住民票を有している市民から無作為抽出することになる。

○石黒委員長

年齢はどのような対象か。

○事務局

18歳以上を考えている。

○石黒委員長

外国人についてはどうなるか。

○事務局

住民登録のない外国人は、対象にはならない。

○石黒委員長

その点について、今の時点で何か意見はないか。

○小山委員

いいと思う。住民票がないと住所が分からないし、郵送できない。住所が分かる人を中心に無作為抽出して送ることでいいと思う。

○石黒委員長

年齢についてはどうか。

○小山委員

18歳から選挙権があるので、18歳以上でいいと思う。

○石黒委員長

次回、詳細を決める。ほかに質問等はないか。

○深瀬副委員長

先ほど工藤委員が言っていた自治会に働きかけることについて、自治会としては難しい面はある。しかし、自治会に働きかけてやってもらうことができれば、その自治会に住んでいる人に関しては高い確率でアンケートを回収することができるだろう。学生はなかなか難しいと思うが、例えば大学を通じて行ってもらったら更に有効なアンケートを行うことができるかもしれない。様々な人に答えてもらうことができたなら、結果で市民の反応が分かるのではないかと思う。

○工藤委員

条例についてみんなが考えていくべきである。大変な作業だが、それを行うともっと多くの人の意見が反映され、意識が高まってくのではないかと思う。

○石黒委員長

条例の認知度が低いので、もっと広めていかなければならないと思う。どこの自治体でも認知度は低い。その理由は様々だと思うが、自分の利益に関わらないからかもしれない。認知度を高めていくという点では、やり方はいろいろとあるかもしれない。

### ○小山委員

認知度を高めるという点では、アンケート自体で周知は行わなくていいと思う。調査自体、無作為抽出であるからには、誰がやったかわからないということが重要で、自治会を通すと役員中心になってしまい、ある程度一定の決まった人たちが意見することになる。自治会の中で無作為に選ぶとなると、なかなか難しいと思うので、やはり役員や班長等の決まった人たちが答えることになってしまう。まずは、いろいろな人から意見を出してもらうということが重要だと思う。

### ○工藤委員

アンケートに関して、無作為抽出した市民5,000人と自治会等に依頼して行うことの両方を行うことはできないのか。前回の検討結果の資料では、5月に5,000人を対象にアンケートを行い、1,515名に回答いただいた中で認知度が低いとある。アンケートを行う中で、市民が知らない、また知らないところで進んでいるということを耳にしていたので、認知度を上げるためにはやり方を変えられないのかなと思う。

### ○田口委員

目的ごとに全体で行ったほうがいいものと一部のサンプルで行ったほうがいいことがあると思う。自治会毎にどれだけの人が参加しているか等に格差がある。自治会を否定しているわけではなくて、そういう格差があった場合に偏ったアンケートになってしまうかもしれないと思う。今回のアンケートはアンケートとして行うこととし、条例を周知するのは別の方法で行ったほうがいいと思う。いかがか。

### ○石黒委員長

今日決めるというわけではないので、いろいろな意見を出していただいて議論して、それを踏まえて考えていただければと思う。ほかにもご意見ご指摘等あれば、出していただきたい。

### ○工藤委員

条例への意識が低迷していることを受けて、市民の意識を変えていく努力をすること、行政が外部にそれを示していくことも大事かと思って意見を出した。

### ○石黒委員

検討委員会は、多くの市民の理解を深め、市民参加と協働のまちづくりを推進してくための議論をする場でもあるので、そのような視点からアンケート以外の周知の取り組みについても、議論してはいかがか。アンケートはアンケート、それとは別に周知等も進めていくこともあり得るかと思う。そのために、いろいろなご意見を出していただきたいと思う。

## 7 その他

次回委員会の日程調整について

## 8 閉会